

わかやま 県議会 だより No.14

平成23年【2011】
11月9日発行(年4回発行)



郷土の誇り
重要伝統的建造物群
保存地区(湯浅町)
しょうゆ醸造など
商工業を中心に発展した
湯浅のまちなみは、
その重厚な歴史的風致を
今も残しています。



9月定例会号

主な記事

2~3面 平成23年9月定例会概要

4面 議会活動/県議会からのお知らせ
県民意見募集の結果

災害 復旧・復興 に向けて

立ち上がる県議会

和歌山県議会

災害対策本部設置

台風12号による県内の豪雨被害が甚大である

ため、9月4日午前8時に和歌山県災害対策本部が設置されました。

同時刻、県議会も議会災害対策本部設置基準に基づき、新島雄議長を本部長に、和歌山県議会災害対策本部を設置し、被災地の一日も早い復旧・復興をめざすべく体制を整えました。

9月5日午前11時より、議長、各常任委員会委員長、東南海・南海地震等対策特別委員会委員及び各会派の代表者からなる第1回本部会議を開催し、県当局から被害状況及び対応の聴取、被災者支援、ライフラインの早期復旧等、各般にわたり情報・意見交換等協議を行いました。特に緊急を要する災害復旧対策については、9月補正予算での対応を求めることとしました。

また、今後の復旧及び防災対策については、東南海・南海地震等対策特別委員会において、総合的に進めていきます。



このたびの台風12号による豪雨災害で犠牲となられた皆様に心から哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての方にお見舞い申し上げます。



9月定例会開会日冒頭に黙祷

東南海・南海地震等対策特別委員会開催

東南海・南海地震等対策特別委員会は、台風12号による被災地の1日も早い復旧・復興を支援するため、被害の大きかった日高地方以南の選挙区選出議員6人を新たに加え、委員定数を17人とし、9月8日、27日の2日間、開催しました。

8日開催の委員会では、行方不明者の捜索、ライフラインの早期復旧、ダム等の放流のあり方、二次災害の防止等、被災地からの要望や被災状況について、各委員が意見を出し合い、県当局に対し、迅速な対応を求めました。

また、27日開催の委員会では、前回の要望に対するその後の措置や復旧状況について確認するとともに、復興支援の方針や課題等について議論を交わし、被災地の復旧・復興に向け、県議会と県当局が一丸となって取り組んでいくことを決意しました。



台風12号 被災地現地調査

建設委員会

建設委員会では、9月16日に被災地の緊急調査を実施しました。

今回の調査では、広範囲に及ぶ被災地のうち、道路復旧状況等を考慮して、特に河川及び道路に対する被害の大きかった日高川町内の護岸決壊及び破堤6カ所、田辺市中辺路町の国道311号土砂災害1カ所、田辺市本宮町内の浸水被害箇所等を重点的に視察しました。

各箇所の被害状況は、いずれも甚大なものであり、地域住民の生活再建のために速やかな復旧に取り組む必要性を痛感しました。

建設委員会としては、委員会活動を通して、被災地の一日も早い復旧・復興はもちろんのこと、根本的な防災対策としての砂防堤整備、河川改修及び道路整備等を県当局とともに取り組んでいきます。

総務委員会

総務委員会では、10月3日、4日の2日間、被災地を調査しました。

今回は、被害の大きかった日高川流域各地、中辺路・滝尻王子周辺、熊野本宮大社周辺、熊野川日足地域、さらには田辺市伏菟野、那智川流域(那智大滝・JR鉄橋)等の那智勝浦町内及び熊野速玉大社周辺や佐野等、新宮市内の各地域について、県当局から現在の状況や今後の復旧方針等について説明を受けながら、未曾有と言っても過言ではない甚大な被害状況を調査しましたが、被災された方々の困難な状況に接し、救済と災害からの復興に最大限の力を尽くすとともに、一日も早く元の生活に戻っていただけるように一生懸命頑張りたいと、より一層強く決意しました。





対面式演壇から質問

9月定例会から、新たに執行部と向かい合った位置に演壇(対面式演壇)を設置し、従来から行っている一括質問方式に加え試行的に導入した一問一答方式、分割質問方式を活用して10人の議員が一般質問を行いました。

会期中の主な動き

- 特別委員会の開催
東南海・南海地震等対策特別委員会 (9/8、27)
条例案検討会の開催
歯科保健推進に係る条例案検討会 (9/9、26)
特別委員会の設置
決算特別委員会を設置し、13人の委員を選任 (9/28)

決算特別委員会(定数13人)

- 平成23年9月28日選任・就任
委員長 副委員長
向井嘉久藏 山田正彦
森崎礼子 立山田 誠
尾濱太史 谷下木 直
濱谷洋一 奥村規弘 隆
奥岩田 彦

9月定例会概要

9/8~9/28の21日間

台風12号災害対策
関連補正予算などを可決

一般質問議員(10人)

Table with 2 columns: 9月20日(火) and 9月21日(水). Lists names of council members who asked questions on those dates.

9月定例会の主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、下記のとおりです。(要約抜粋)

災害対策

台風12号の災害復旧対策

台風12号は過去に例を見ない甚大な被害をもたらしたが、災害復旧支援に対する国への早急な働きかけ、また、県独自の対策をどう考えているか。

9月13日に国に対し、激甚災害の早期指定や被災者の生活再建に向けた支援等、8項目の緊急要望を行った。また、危機状態の市町村に多くの人員を派遣し、被災者の確認やニーズ調査、ボランティアやごみ処理等の支援を行っている。今後、応急復旧に全力を挙げ、仮復旧、本復旧に取りかかり、本県の機能を一日も早く取り戻したい。

ため池の防災対策

県内には約5500のため池があり、地震・台風が続く中、地域住民の生命・財産を守るために早急な対策が必要であるが、現状の取組と今後の対策はどうか。

県では、地域防災計画に位置づけられたため池など、420カ所で第1次耐震診断を行い、そのうち特に危険度の高い82カ所では第2次診断を実施し、62カ所が要対策となっている。市町村の要望を受け、要件の整ったため池から県営ため池等整備事業を実施するとともに、平成20年度から管理者に点検マニュアルを配布し、日常点検の充実強化を指導している。



災害発生時の市町村との連携

災害発生時の行動指針や初動マニュアル等は地元市町村で十分検討しておく必要があるが、市町村の体制づくりへの県の支援も大切である。現在の連携状況と今後の対応は。

今回の予想を上回る豪雨では避難指示等の発令判断が難しくなったと考えるが、国でも発令判断基準の見直しに取り組みと聞いており、県でも専門家の意見を聞きながら検討していく。安否確認に係る市町村との連携については、平成21年度に、東南海・南海地震に備え、孤立化の予測される地域への市町村防災行政無線等の整備を支援したところである。

土砂ダムの現状と復旧

台風12号の土砂崩れにより出現した田辺市熊野の土砂ダム、熊野川に流れ込む奈良県の土砂ダムの現状と復旧の見通しは。

同様のダムは今までも全国各所で発生しており、その都度、国土交通省が知見を蓄えており、制度もあるため、直轄で対処してくれよう求めている。既に水を抜いて水路をつくる工事を直轄で始めていたが、別の台風が来て中断している。その工事が完成すると地域に戻る可能性が高くなるので、早急な実施をお願いしている。

通学困難な高校生への支援

自宅が被災していなくても、道路事情で学校に行けず、入寮手続をしたりアパートを借りて対応している家庭もある。経済的な負担も大きい。これまでどのような手だてをしてきたか。

災害直後から教員が家庭訪問して生徒の安否を確認し、生徒や保護者からの相談に乗るなど、きめ細かな支援を行っている。JR等の運休に対応してバスをチャーターし通学手段を確保するとともに、通学路の復旧に時間がかかりそうな生徒には寄宿舎等、県保有施設の活用を働きかけるなど、学校と連携をとりながら鋭意対応している。

エネルギー

脱原発に対する知事の考え方

福島原発事故を引き起こした危険性から、改めて原発撤退の必要性を痛感したが、知事は脱原発をどう考えるか。

全体として、我々が生きていく、雇用を守っていくためにエネルギーの総量を確保しなければならぬこと、また、太陽光発電など再生可能エネルギーの導入を積極的に行って多種多様なエネルギー源のバランスミックスを図っていくこと、という2つの視点が重要である。

常任委員会活動リポート

建設委員会

建設委員会では、8月24日・25日に近畿自動車道紀勢線(田辺~すさみ)、国道371号橋本バイパス、国道169号竹原拡幅及び奥瀬道路II期、県道井ノ口秋月線、県道井関御坊線の道路整備事業並びに河川整備事業1カ所、下水処理場事業1カ所、ダム整備事業1カ所、海岸整備及び津波対策事業1カ所について、進捗状況及び現状について調査を行いました。

今回の調査では、高速道路と合わせて県内の一体的発展に寄与する府県間道路、川筋ネットワーク道路等の幹線道路整備と津波や洪水等の災害対策としての河川整備や港湾整備の地域住民に及ぼす効果を確認するとともに、早期完成に向けた取組の必要性について意見交換を行いました。

和歌山県の国道・県道の改良率(注)は、全国ワースト3位と大きく立ち後れていることから、県民の命とくらしを守る重要な道路である各幹線道路の一日も早い完成を強く要望しました。

Table showing road improvement rates for National and Prefectural roads in Wakayama Prefecture compared to the national average.



近畿自動車道紀勢線(田辺~すさみ) 白浜町・平間トンネル工事現場

議案等の議決結果

項目	件数	件名	結果
予算案件(知事提出)	4件	平成23年度和歌山県一般会計補正予算等	可決
条例案件(//)	9件	和歌山県税条例の一部を改正する条例等	
決算案件(//)	2件	平成22年度和歌山県歳入歳出決算の認定について等	継続審査
人事案件(//)	1件	和歌山県教育委員会の委員の任命につき同意を求めるについて	同意
その他案件(//)	5件	平成23年度建設事業施行に伴う市町村負担金について等	可決
請願	2件	行政書士に行政不服審査法に係る不服審査手続の代理権の付与を求める意見書についての請願	採択
		漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置に関する国への意見書の提出を求める請願	
意見書・決議	23件	台風災害対策に関する意見書	可決
		行政書士に行政不服審査法に係る不服審査手続の代理権の付与を求める意見書	
		反捕鯨団体の活動に対して毅然たる取締りを求める意見書	
		農林漁業用軽油に係る軽油引取税の免除措置等に関する意見書	
		「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書	
		受診時定額負担制度導入の撤回等を求める意見書	
		万全の領域警備を求める意見書	
		南極海における鯨類捕獲調査事業の継続を求める意見書	

項目	件数	件名	結果
意見書・決議 (つづき)		地元漁業者が主体となった法人の漁業権取得について制限を求める意見書	可決
		医療に係る事業税の特例措置の存続を求める意見書	
		一般用医薬品のインターネット等販売規制緩和に反対する意見書	
		調剤基本料の一元化に係る意見書	
		戦没者等の遺族に対する特別給付金等に係る意見書	
		消費税に係る措置を求める意見書	
		地下タンク漏えい防止規制対応推進事業に関する意見書	
		円高・産業空洞化等に係る緊急経済対策を求める意見書	
		雇用の再生・創出のための基金事業の延長等を求める意見書	
		小規模事業者経営改善資金融資制度の充実を求める意見書	
		介護保険制度に関する意見書	
		35人以下学級早期実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書	
		「防災集団移転促進事業」適用条件緩和を求める意見書	
災害復旧における農地傾斜角度等に関する意見書			
本県の農地の災害復旧に関する決議			



問 県では、民生委員・児童委員等と連携し、あいさつや声かけなど、地域で困っている高齢者やその家族を早く見つけ、相談や支援につなげる環境づくりに取り組んでいる。今後も引き続き、地域住民による助け合い活動の支援や福祉関係機関とのネットワーク強化など、地域で支え合う体制づくりの充実強化を図っていく。

答 県では、民生委員・児童委員等と連携し、あいさつや声かけなど、地域で困っている高齢者やその家族を早く見つけ、相談や支援につなげる環境づくりに取り組んでいる。今後も引き続き、地域住民による助け合い活動の支援や福祉関係機関とのネットワーク強化など、地域で支え合う体制づくりの充実強化を図っていく。

介護疲れ対策



福祉

問 新聞で介護の母親を蹴って死なすという報道があった。その罪は重いが、社会全体の責任がないとも言えないだろう。介護疲れからくる事故・事件対策をどう考えるか。

効果と実績



森づくり

問 平成19年4月に施行された紀の国森づくり税は、花粉症研究や森林環境の重要性の普及啓発などに大いに効果を上げた。来春の適用期限を控え、その効果や実績をどう考えているか。

過疎対策



過疎

問 県内30市町村のうち14市町村は過疎地域の指定を受けていない。それら地域への対策についてどう考え、どう取り組むか。

経済警察委員会



経済警察委員会

「サーベイメータ」 放射線の量を測定する携帯型の器械。

問 福島原発事故により牛肉から基準値を超えるセシウムが検出されたが、安心して食べられるよう、牛肉に限らず食品の放射能検査をどのように行っているか。

答 9月から各保健所にサーベイメータを配備して検査を行い、一定値を超えた場合、環境衛生研究センターに設置した検出器で分析する体制を整えた。今後、基準値を超える食品を流通から排除するため、また、県産農水産物に放射性物質がないことを確認するため、モニタリング検査を実施する。

問 昨年、地域住民や市町村と地域固有の課題を洗い出して活性化につなげる過疎集落支援総合対策を実施している。過疎地域に準じることも対象にしており、県内10市町村14生活圏で対策を講じているが、過疎地域指定を受けていない「みなべ町清川地区」も含まれている。今後、よりきめ細かな対策を講じていきたい。

答 昨年、地域住民や市町村と地域固有の課題を洗い出して活性化につなげる過疎集落支援総合対策を実施している。過疎地域に準じることも対象にしており、県内10市町村14生活圏で対策を講じているが、過疎地域指定を受けていない「みなべ町清川地区」も含まれている。今後、よりきめ細かな対策を講じていきたい。

答 4年間で県民提案の事業等28件を採択し、都市部での森林整備、荒廃森林の間伐・植樹等を実施した。納税とこれらの活動により税条例の基本理念が浸透し、森林の役割と保全・活用の重要性が県民に理解された。全国植樹祭を契機とした新条例の制定とともに、紀の国森づくり税条例を延長すべく、次期議会に向けて作業を進めている。

答 県内30市町村のうち14市町村は過疎地域の指定を受けていない。それら地域への対策についてどう考え、どう取り組むか。

答 和歌山海上保安部では、業務概要とともに海上テロを想定した厳しい訓練が重ねられていることを確認し、関係機関との連携を強化してより一層適切な取締りを行うよう要望しました。

答 反捕鯨団体の活動が問題となっており、町当局や漁業関係者から経緯と現況を聴取し、県警察や串本海上保安署からの出席も得て、取締りの現状や今後の対応、畠尻湾に新設予定の臨時交番の位置などを確認しました。

答 住民の「普通の生活をしたいたい」への切なる願いを委員全員がしっかりと受けとめ、委員会としての対応を約束し、9月定例会では、委員会から意見書を提案して、全会一致で可決されました。

答 今後モティムリーかつ有意義な所管事務調査を行い、委員会活動の充実に努めてまいります。



巡視船「きい」

県議会からのお知らせ Information

TV

テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

テレビ テレビ和歌山(WTV)

県議会だより

開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送(12月定例会の放送予定 11/29、12/7~9、12、16)

県議会手話だより

閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送

ラジオ 和歌山放送(WBS)

定例県議会ダイジェスト

開会、質問、閉会日の22時から15~30分間放送(12月定例会の放送予定 11/29、12/7~9、12、16)



県議会ホームページ

和歌山県議会

和歌山県議会

検索

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/>

- 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。
- 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。

傍聴してみませんか

- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

平成23年12月定例会 会期日程(予定)

本会議・常任委員会	11月29日(火)
本会議	11月30日(水)
本会議(質問)	12月 7日(水)~9日(金)・12日(月)
常任委員会	12月13日(火)・14日(水)
本会議	12月15日(木)・16日(金)

※この日程は予定ですので、変更されることがあります。
傍聴を希望される方は、開催日時等をお確かめください。

「点字版・テープ版」の案内

本紙の点字版・テープ版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。

台風12号による災害にあたり、多くの方々から心温まるお言葉、義援金、お見舞金をいただきましたことに心から御礼申し上げます。

いただきました義援金、お見舞金につきましては、早期復興のため大切に活用させていただきます。

○応援メッセージ・義援金・お見舞い金

宮城県議会、新潟県議会、愛知県議会、福井県議会、滋賀県議会、熊本県議会、大分県議会、長崎県議会、沖縄県議会、全国都道府県議会議長会 (平成23年10月26日現在)

～紀伊半島大水害～
まけるな!! 和歌山

発行日/平成23年11月9日
編集・発行/和歌山県議会 ☎073-441-3560
〒640-8585(県庁専用郵便番号) 和歌山市小松原通1-1

議会活動を紹介



Topics

全国都道府県議会議長会定例総会開催 (10月25日)

全国都道府県議会議長会の第140回定例総会がダイワロイネットホテル和歌山を会場として開催され、本県議会からは、新島雄議長、前芝雅嗣副議長が出席しました。

全国都道府県議会議長会は、大正12年に設立された組織であり、毎年3回開催の定例総会のうち秋の定例総会を各都道府県で順々に開催しています。和歌山県では、昭和44年10月の第54回以来、42年ぶりの開催です。

定例総会では、全国都道府県議会の議長、副議長、事務局長をはじめとする200人を超える議会関係者が集い、開催地である本県の新島雄議長、山本教和会長(三重県議会議長)、仁坂吉伸知事の挨拶、自治功労者表彰の後、議事に入りました。

新島雄議長が総会議長を努め、議案審議後、次回開催地を静岡県と決定し、定例総会は成功裏に終了しました。

総会后、和歌山電鐵株式会社代表取締役社長の小嶋光信氏を講師に迎え、「地方交通再生と地域活性化」と題する講演を行いました。たま駅長やたま電車など和歌山電鐵のユニークな取組と活性化の秘訣など、示唆に富んだ内容でした。



関西広域連合議会 総務常任委員会開催 (10月8日)

関西広域連合議会の第2回総務常任委員会が和歌山県議会を会場として開催され、本県議会からは、尾崎要二議員、吉井和視議員が出席しました。

関西広域連合の総務常任委員会は、連合議会8月定例会で設置が決定され、9月10日に第1回委員会が兵庫県で開催されました。この後、原則として毎月1回、第2土曜日に各構成府県で順々に開催することが決定しています。



今回の委員会では、副連合長である仁坂吉伸知事が出席し、「広域職員研修について」、「資格試験・免許等について」、「国出先機関対策について」、「災害対策について」のそれぞれのテーマについて活発な意見交換が行われました。

和歌山県民の歯と口腔の健康づくり条例(案) 県民意見募集の結果

8月に実施した条例のあらましについての県民意見募集は、174人(和歌山県内171人、大阪府2人、東京都1人)の個人の方、2団体から、貴重な御意見・御提言をいただくことができました。

9月9日、26日開催の歯科保健推進に係る条例案検討会では、この県民意見募集の結果を踏まえて、条例案への反映、その上で条例の内容を具体的に実施していく体制づくりなどの制度設計について、活発な意見交換や議論が行われました。

現在、12月定例会での議員提案に向けて取り組んでいるところです。県民意見募集結果の要旨については、12月定例会の条例議案とともに、県議会ホームページに掲載する予定です。

